

# 地歴公民科(地理)学習指導案

神奈川県立川崎高等学校  
指導者 井上明日香

- 1 日 時 令和3年7月19日(月) 4校時 15:05~16:35
- 2 場 所 社会科教室
- 3 学年・学級 地理選択者 30名 (2年次22名、3年次8名)
- 4 単 元 名 地理A 教材名「生活の舞台としての気候」

## 5 単元目標

気候という自然環境について、地図や様々な資料を活用することでその特徴を捉え、自然環境と世界各地の生活や文化の特徴を関連付けて考察し、生活・文化の多様性について把握することができる。より良い国際社会の在り方についてSDGsの観点も踏まえながら、国際社会の取組や協力が必要であることを捉え、様々な課題解決に向けて方策の提案をすることができる。

## 6 単元について

### (1) 生徒観(略)

- ・地理の授業を選択して受講している生徒ということもあり、地理的事象に興味を持つ生徒が多い。
- ・基礎的な地理的な見方や考え方が身につけていない生徒もいるが、課題に真面目に取り組む場面が見られる。
- ・他者とのコミュニケーションを苦手とする生徒が多いが、個人に与えられた課題には取り組もうとする。

### (2) 教材観

本単元は世界各地の気候について取り扱う。自然科学的な題材を生活の様子と関連させながら考察することが求められる。「Google Earth Engine」は様々な現象を表示できるツールである。また、「Google Earth」のプロジェクト機能を活用することで、世界各地の気候の特徴について捉えやすくなる。これらは、縮尺が自由に調整できる、対象地域を柔軟に変更できる特性があるため、教科書やその他生徒が持っている教材以上により多くの情報を得ることができる。

気候の学習を通じて、気候と関連した人々の生活や文化を関連付けることで、世界の現状をつかみ、様々な国際的な問題を考察するきっかけを作ることができる。SDGsを意識させることで国際的にどのように関わるのか、知識注入にとどまらず様々な思考を促すことが可能となる。

### (3) 指導観(宇宙教育を使うよさ)

自然現象と世界各地の生活の様子を関連付けて考察させる際に自然環境決定論に陥らないようにしたい。一つの事例だけで終始するのではなく、広い視野から様々な事例について考察させたい。また、自然環境の中でも「気候」は生徒にとって捉えやすい面もあるが、気候そのもののメカニズムを学ぶだけでなく、人々の生活が気候条件とどのように関わるのか、捉えさせるように工夫したい。

「Google Earth」はすでに授業で何度か取り扱っているが、この単元において「Google Earth Engine」は初めて使用することになるため、見方を丁寧に説明するなど、生徒がツールを問題なく使うことができるように心がけたい。一度操作に慣れれば、自発的に様々な事象を読み取ることができるようになるので、自由に操作させ、地理的事象を読み取らせたい。

世界が抱える問題に地球的視野からどのような取り組みが必要なのか、提案することで主体的な学習へと導き、「自分事」として様々な国際的な問題に取り組もうとする姿勢を育みたい。

## 7 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 世界各地の自然環境に関して、自然環境の多様性を理解するとともに、「Google Earth Engine」や諸資料から世界各地の人々の生活の様子に関する様々な情報を効果的に調べる。</p> <p>② 調べたことをレポートなどにまとめ、国際問題へのアプローチには多様な国家の協力が必要であることを理解している。</p>	<p>① 世界各地で様々な自然環境に関連する問題が生じていることなどに着目して問いを見出し、国際社会が抱える問題が解決されずにいることについて、多面的・多角的に考察している。</p> <p>② 様々なICTによる地図と教科書の記述を比較・関連付け、総合などして、国際社会の現状を考えたり、学習したことを基に社会への関わり方や課題の解決に向けて選択・判断し、説明したり、それらを基に議論している。</p>	<p>① 自然環境と関連の深い国際的な問題について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追及し解決しようとしている。</p> <p>② よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>

## 8 単元の指導計画・評価計画（5時間扱い、本時は1/5）

時	目標	・学習活動	評価の観点		
			知	思	態
1	<p>○気候のメカニズムを知るとともに、多様な自然環境が生活と深く結びついていることを把握する。</p> <p>○世界各地の自然環境について興味を持ち、積極的に調べようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球上で気候の差が生活の様子と関連付けられることについて興味を持ち、知る。</li> <li>・身近な地域の気候を事例に気候のメカニズムを考える。</li> </ul>	①		①記
2 ・ 3	<p>○世界各地の自然環境について知り、世界各地の生活文化について自然環境的な側面や国際社会の観点から考察し、その関連性について捉える。</p> <p>○様々な制約がある中でそれぞれの土地で様々な文化が育まれてきたことを諸資料から読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界各地で自然の制約と向き合いながら生活を送ってきた人々の営みについて調べる。</li> <li>・気候が農業に影響を与え、それらは様々な国家の影響を受けて発展してきたことを理解する。</li> </ul>	②		
4	<p>○日本とよく似た温帯気候下で様々な違いが見られる要因を理解し、日本の気候と他国との違いについて考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温和な気候の様々な地域の特徴を知ること、日本の気候の特徴を把握し、日本の気候に影響を与える要素について知る。</li> <li>・日本の各地の気候の特徴についてまとめる。</li> </ul>	③記	①	
5	<p>○森林の多寡は自然環境だけでなく、人々の生活と深く関連していることを捉え、国際社会が森林減少に対してどのようにアプローチをしていけば良いか、考察することができる。</p> <p>○「Google Earth Engine」などの機能、教科書や地図帳などを活用して、必要な情報を適切に取り出すことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学んだことを確認しながら、様々な地域の植生の様子についてまとめる。</li> <li>・様々な資料から必要とする情報を取り出す。</li> <li>・森林保全のためには、どのような国際的な取り組みが必要か、多様な観点から考察する。</li> </ul>	④		②記

## 9 本時の授業計画

### (1) 本時の目標

- ・森林の多寡は自然環境だけでなく、人々の生活と深く関連していることを捉え、国際社会が森林減少に対してどのようにアプローチをしていけば良いか、考察することができる。
- ・「Google Earth Engine」などの機能、教科書や地図帳などを活用して、必要な情報を適切に取り出すことができる。

### (2) 本時の流れ

	学習活動と内容	指導上の留意点	【評価の観点】 〈評価場面や方法〉
導入 (5分)	これまで学んだ気候区を簡単に確認する。	本時の学習につなげられるよう、既習事項を確認する。 資料「Google Earth」	
展開 (75分)	<p>本時の問い 世界の森林を守るためにはどのような取組が有効か？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植生の有無がどのような自然条件によって規定されるのか、確認する。</li> <li>・森林が減少している地域とその原因について社会的側面を知る。</li> <li>・FSC 認証の取組</li> <li>・国際社会が森林を保全するために、どのような取組が有効か、様々な案から考察する。</li> </ul>	<p>作業を行わせながら、森林の有無や増減について、なるべく生徒が発見できるように生徒の状況に応じて地域などを明示する。 資料「Google Earth Engine」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然環境決定論」に陥らないように、人々の生活などに触れる。</li> <li>・一つの理由だけではなく、複合的な理由から森林減少がもたらされていることに気付かせる。</li> <li>・SDGs の視点を踏まえる。</li> <li>・それぞれのメリットやデメリットについて捉えたうえで、デメリットをいかにカバーするか考えさせる。完璧な案はない中で何を重視するかその理由を明確にさせる。</li> <li>・日本で生活する我々の仕手だけではなく、各地で暮らす人々やその国の統治者などの様々な視点から考察させるようにする。</li> </ul>	<p><b>【知】</b> 植生と気候の関連や自然と社会的側面の両方から植生の有無の要因についての的確に捉えている。</p> <p><b>〈定期テスト〉</b></p> <p><b>【思】</b> 森林保全のためのそれぞれの取組のメリットやデメリットについて実態に即して考察することができる。</p> <p><b>〈プリントの記述内容〉</b></p>
まとめ (10分)	森林保全のために、国際社会ができる取組について自身の考えをまとめることができる。	<p>文章でまとめることが困難な生徒のフォローを行い、森林保全の意義について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林を守ることは誰もが重要だと思っても、何に取り組むべきか、それぞれの国や地域が置かれた事情によって異なることから、国際的な解決が困難となっていることまで気づかせたい。</li> </ul>	<p><b>【表】</b> 世界の森林保全のために、国際社会がとるべき現実的な取組を表現している。</p> <p><b>〈プリントの記述内容〉</b></p>